

平成26年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業

ソフトボール教室

1 ねらい

ソフトボールの技能の習得および指導技術の向上を図るとともに、参加者間の交流を図る。

2 実施日

平成27年1月31日(土)～2月1日(日)

3 活動場所

国立大洲青少年交流の家

4 参加対象・参加者数

ソフトボール選手(小・中・高校生)及び引率者
238名(宿泊156名、日帰り82名)

5 講師

伊予銀行女子ソフトボール部監督、選手

6 日程

【1月31日(土)】

13:30 14:00 14:30 17:00 17:30 19:30 21:00 22:30

受付	開講式	実技指導	入所オリエンテーション	夕食	交流会	自由	就寝
----	-----	------	-------------	----	-----	----	----

【2月1日(日)】

6:30 9:00 12:00 13:00 15:00

起つ清朝ど 床い掃食	実技指導	昼食	実技指導	閉講式
---------------	------	----	------	-----



7 活動内容

ソフトボールの技能の習得および指導技術の向上を図ることをねらいとして、伊予銀行女子ソフトボール部監督、選手による実技指導および交流会が行われた。実技指導は、楽しみながらできるウォームアップの手法や、正しいフォームでのキャッチボール、ベースランニングや基本補球の練習を、内野手、外野手、投手、捕手等に分かれて実施した。夜は、伊予銀行女子ソフトボール部と参加者との交流を図ることを目的とした交流会を行った。質問コーナーでは、参加者から、技術的なことや、練習方法やメンタルに関するものなど、次々と質問が出された。それらの質問に対して、選手たちは、分かりやすく丁寧に、真剣に答えた。2日目の午前中は、前日の基本練習を復習しながら、少しずつ高度な内容の練習を取り入れていった。午後は、バントと内野のみの試合を参加チームごとに実施し、最後は参加チームから1名がバッターになり、伊予銀行の選手たちからヒットを打てるかのゲームを行った。そのうち何名かのバッターが見事ヒットを打つことができ、会場からは大きな歓声があがった。

講師の熱心かつきめ細やかな指導により、チーム同士の交流が深まっただけでなく、参加選手はもちろん指導者の知識や技能が向上し、今後の活動につながる貴重な機会となった。